

令和8年度 地方公共・民間育英団体奨学金「一般公募」募集团体一覧

和歌山キャンパスに所属する出願希望者は希望する団体の募集要項を配布締切までに、奨学金担当窓口（2号館1階事務室）の窓口にてお受け取りください。
（一部、団体ホームページよりダウンロードあり）

- （注意事項）
- ・給付奨学金の申込は 1 人 1 団体です。（日本学生支援機構の給付奨学金は除く） 個人応募であっても学校の公印のいる推薦書を必要とする場合は、1 団体の応募と数えます。
 - ・令和8年度 地方公共・民間育英団体奨学金の「大学推薦」に登録申請される方は「一般公募」の給付奨学金には申込できません。
 - ・令和8年4月時点で奨学団体等から給付奨学金の受給が確定している方は対象外です。（日本学生支援機構の給付奨学金は除く）
 - ・令和8年度世耕弘一給付奨学金に申込される方は、地方公共・民間育英団体の給付奨学金の申込はできません。
 - ・特待生制度等に該当している方も申込は可能です（令和7年度より変更）。
 - ・併給可能か（特待生制度の規定内容）は所属学部（学生センター）で確認してください。（注意：優先度は低くなります。財団が不可とする場合は申込できません。）
 - ・推薦人数に限りがある団体は学内選考を行います。
 - ・令和8年度の学年で表記しています。

番号	種別	団体名	主な出願資格	月額	期間	募集要項 配布先	書類 提出先	願書提出締切 （必着）
1	給付	公益財団法人 藤井国際奨学財団	推薦人数：1名（学内選考を行います。） ①対象：工学・理化学系、経済・経営・情報系の学部3・4年次（2026年4月現在） ②学業、人物共に優秀かつ健康であり、経済的支援を必要としている者 ③25歳までの者（2026年4月1日現在） ④学費の支弁が困難と認められる者 （父母の年収合計税込1,000万円未満） ⑤民間企業が設けている奨学金との併給は不可 ⑥財団から要請されるレポートや成績証明書等の提出が出来る者 ⑦財団が開催する交流会（例年秋開催）などの催しに参加出来る者	50,000円	2026年 4月～ 最長2年間	大学 （配布締切9/4）	大学	2025年 9/5
2	給付	公益財団法人 渥美国際交流財団	(1)日本の大学院博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方 (2)渥美奨学金の受給期間に、所属する大学院研究科（研究室）と居住地区が、関東地方（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県）または近畿地方（大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県・三重県）にある方 (3)国際理解と親善に関心をもち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある方 (4)渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方（当財団は当財団は常勤職の方の受給、および月額10万円以上の他の奨学金との重複受給は認めません。） 詳しくは財団HPよりご確認ください。 https://www.aisf.or.jp/jp/scholarship.php	250,000円	2026年 4月～ 1年間	財団	財団	2025年 9/1～ 9/20
3	給付	公益財団法人 林レオロジー記念財団	推薦人数：各学部1名、各研究科1名（学内選考を行います。） ①対象：未来に役立つ理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI技術・IT技術・制御工学等の自動製造システムに関する学問を習得又は学術研究を志す工学部・理学部系の大学 生および大学院生、 もしくは「食品産業に関する」農学部（水産）・生命科学系等の大学生および大学院生を対象とし、且つ次の1～3の条件をすべて満たしている者 1. 令和8年4月に大学3年若しくは4年に進級する者、または 大学院前期（修士課程）の1年に進学を希望する者、若しくは 大学院前期（修士課程）の2年に進級する者 2. 品行方正で学習意欲の高い者 3. 学業成績が一定水準以上の者 団体HP https://www.hayashi-rheology.or.jp/recruitment/entrance/college.html	学部 40,000円 大学院 70,000円	2026年 4月～ 最短修業年限	大学 （配布締切 9/22）	大学	2025年 9/26
4	貸与	公益財団法人 丹後中央病院 令和8年度 奨学育英資金貸与制度	募集職種の養成学校へ在学中または入学予定で、卒業後、丹後中央病院へ入職を希望される方 【募集職種】 ・臨床工学技士 詳しくは団体HPよりご確認ください。 https://www.tangohp.com/	年間 1,200,000円	所定就学期間	団体	団体	2025年 11/28
5	給付	公益財団法人 北海道文化財団 人づくり一本木 基金	工芸美術及びものづくり等の分野において、将来の活躍が期待される道内在住又は道内出身者 心身ともに健全で、学業に精励し修学の見込はあるが、経済的理由などにより修学が困難な者 【成績基準】 1年生 高校の評定平均値5段階評価で3.0以上の者 2年生以上 GPA 2.8以上の者 【経済的基準】 日本学生支援機構第一種奨学金基準を目安とする 詳しくは財団HPよりご確認ください https://haf.jp/ippongi/index.html	年額 250,000円	2026年 4月～ 最短 修業年限	財団	財団	2025年 12/5 当日消印有効